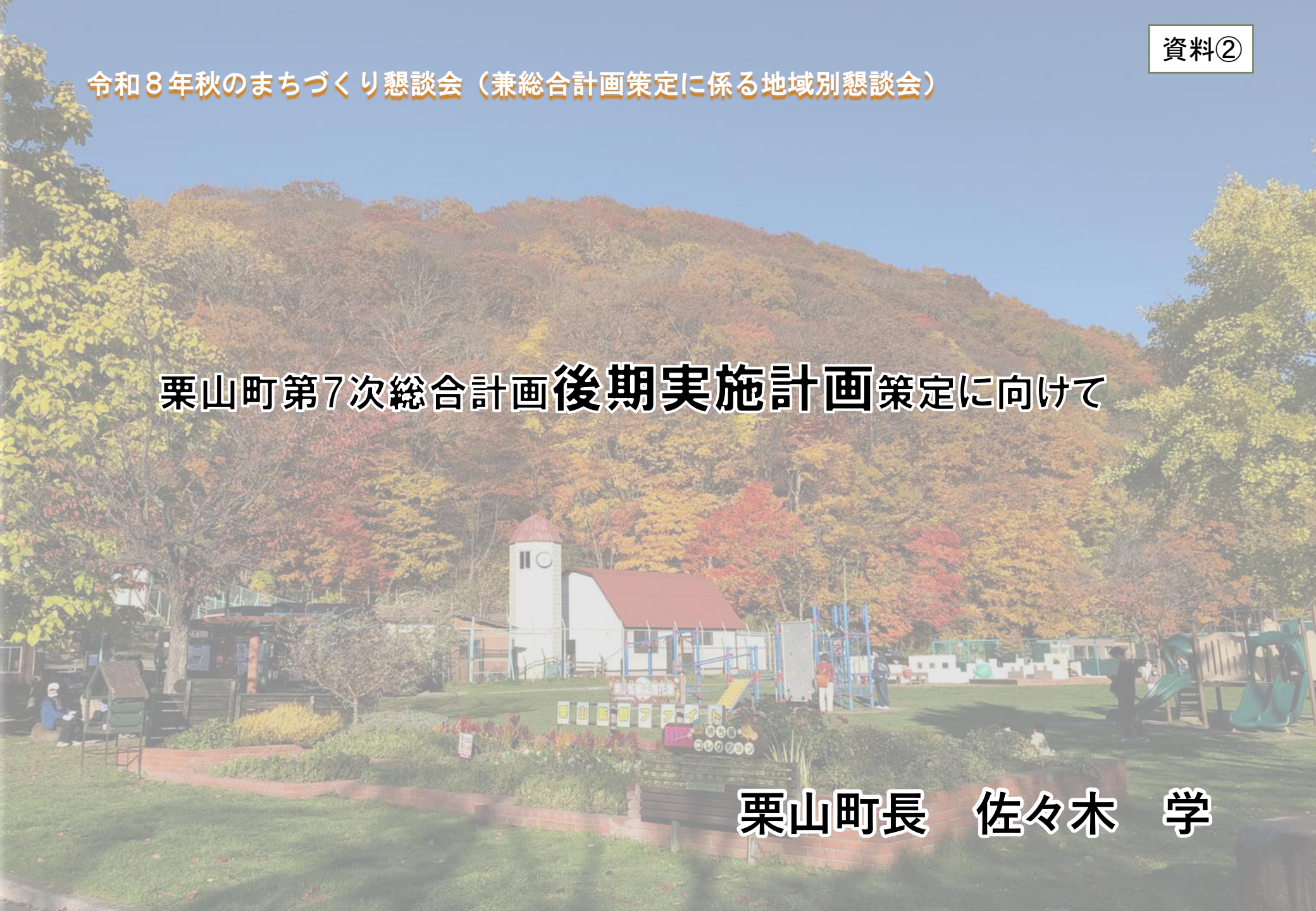
資料②

令和８年秋のまちづくり懇談会（兼総合計画策定に係る地域別懇談会）

栗山町第7次総合計画**後期実施計画**策定に向けて



栗山町長　佐々木　学

町財政の状況：計画策定時（R4.12）における中長期試算と実績推移

✓ 前期実施計画期間は、コロナ対策事業や物価高騰対策事業などにより、各年度とも計画と比較し実績が増額傾向にありますが、国の交付金など財源確保が同時に図られるとともに、町税や地方交付税の増加により、計画策定時の試算より収支状況は改善しています。

1.一般会計の歳入歳出の状況

（単位:百万円）

		R5年度		R6年度		R7年度		R8年度		R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
		計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	当初	計画	計画	計画	計画
歳入	町税(町民の皆さんが納める税金)	1,231	1,298	1,225	1,268	1,213	1,373	1,204	1,375	1,193	1,186	1,177	1,166
	地方交付税(国税の一部から交付)	3,608	3,897	3,576	4,089	3,693	4,324	3,694	4,070	3,730	3,779	3,835	3,878
	町債(事業資金の借入金)	2,919	3,461	4,820	4,233	2,471	2,414	1,332	1,456	1,536	1,239	1,035	1,004
	繰入金(町の基金からの取崩し)	199	197	197	223	193	222	178	478	243	255	216	293
	その他(国道補助金、譲与税等)	3,590	4,091	3,481	4,098	3,547	4,502	3,458	3,702	3,503	3,588	3,413	3,393
	計【A】	**11,547**	**12,944**	**13,299**	**13,911**	**11,117**	**12,835**	**9,866**	**11,081**	**10,205**	**10,047**	**9,676**	**9,734**
歳出	人件費(職員給与・議員報酬等)	1,339	1,248	1,342	1,320	1,335	1,390	1,342	1,554	1,328	1,328	1,327	1,320
	公債費(借入金の返済)	1,102	1,105	1,106	1,132	1,178	1,249	1,266	1,437	1,387	1,445	1,515	1,552
	投資的事業費(公共施設整備等)	2,999	3,315	5,161	4,515	3,032	2,994	1,804	1,947	1,835	1,810	1,430	1,344
	積立金(基金)	229	466	373	259	381	547	247	197	257	241	261	256
	その他(扶助費、繰出金等)	5,828	6,514	5,267	6,261	5,141	6,281	5,157	5,946	5,348	5,173	5,093	5,212
	計【B】	**11,497**	**12,648**	**13,249**	**13,487**	**11,067**	**12,461**	**9,816**	**11,081**	**10,155**	**9,997**	**9,626**	**9,684**
収支差額(歳入－歳出)【A－B】		**50**	**296**	**50**	**424**	**50**	**374**	**50**	**0**	**50**	**50**	**50**	**50**

2. 町の基金(預金)及び町債(借入金)の状況

（単位:百万円）

	R5年度		R6年度		R7年度		R8年度		R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	当初	計画	計画	計画	計画
基金等残高	1,905	2,461	2,081	2,549	2,268	2,875	2,337	2,875	2,351	2,338	2,382	2,345
町債残高	12,849	13,326	16,620	16,503	18,001	17,819	18,178	18,102	18,446	18,365	18,014	17,596

※一般会計による試算額
※基金等残高は土地開発基金(土地分)を除く

✓ 後期実施計画の策定に向けては、安定した財政基盤を土台に、財政健全性の堅持とまちの将来像を実現するための施策・事業が実行可能となる計画づくりに取り組みます。

分野別政策　「Ⅰ生活環境」

環境・エネルギー　　生物の多様性保全の普及推進

No. 154

充　実

自然と共生する社会を実現するため、生物多様性の保全を普及推進します。



生物多様性の損失を止め、自然を回復軌道に乗せる「ネイチャーポジティブ（自然再興）」の実現に向けた取組を展開する。

- **協議会（中核組織）の設立及び協議、関係機関・団体（事業所）・町などによるネイチャーポジティブに資する取組の実施及び支援**
- **環境省「自然共生サイト」の認定、里山環境の整備**
- **環境基本条例の制定**
  環境基本計画（仮称）の策定



分野別政策　「Ⅱ　教　育」

学校教育　　学校施設・設備などの整備

No. 31

充　実

小学校校舎・体育館の計画的な改修と学校統合を含む小学校のあり方について検討します。

- **将来的な校舎の整備に向けた、調査・検討**
  （角田小学校、継立小学校の跡地活用の検討）



学校教育　　北海道介護福祉学校の運営

No. 36

充　実

学校経営基盤の確立を図り、超高齢化社会を支える優れた介護福祉人材を養成します。

- **介護人材の確保に関する自治体等との包括連携**
  （24自治体、３法人と協定締結済）
- **介護ＤＸ人材の育成**

※栗山高校との連携による高専一貫教育プログラムの運用

分野別政策「Ⅲ　医療・保健・福祉」

保健　　健康を支え守るための社会環境の整備

No. 62

充　実

妊娠前から乳幼児期の健やかな発達・発育を支援し、次世代の健康を支援します。

- 無痛（和痛）分娩費用助成を実施します。
- 助産師による産後ケア事業の充実を図ります。
- 保健師、管理栄養士などの専門職が、一人ひとりに寄り添った相　談支援をします。



児童福祉　　施設・環境整備の推進

No. 75

児童福祉施設等の計画的な改修・設備更新を実施します。

- こどもや保護者などを切れ目なくサポートする「こども家庭センター」を開設します。

分野別政策「Ⅳ 産　業」

農林業　生産性の高い農業・農地整備の推進

No. 90

国営事業などによる施設の維持管理と生産基盤の早期整備を目指します。

- **国営事業による農地再編整備の検討**
  9地区からの要望（面積約2,000ha）

No. 91

充　実

道営事業による計画的な基盤整備と施設の維持管理を実施します。

●**道営農地整備事業の予定（※検討中含む）**

①円山	R3～R11	26億1,700万円
②御園南部	R4～R10	17億9,000万円
③富士	R5～R13	61億1,700万円
④御園北部	R6～R14	52億　900万円
⑤御園中部	R7～R18	48億7,200万円
⑥北学田中部	R9～R17	39億円
⑦北学田北部	R10～R21	52億円
⑧北学田南部	R12～R23	54億円
⑨円山２	未定	10億円
⑩畑総栗山南部	未定	30億円
⑪雨煙別	未定	69億円
⑫畑総栗山北部	未定	26億円
⑬南学田	未定	243億円
⑭鳩山	未定	64億円
⑮畑総栗山東部	未定	9億円

合計802億500万円



令和7年富士地区着工前



令和7年富士地区工事完了

分野別政策　「Ⅳ　産　　業」

観光・交流　観光・交流の推進

No. 105

地域資源を磨き上げ観光・交流による地域経済活性化を推進します。

- 新たな観光推進体制の構築
- 栗山駅南交流拠点施設「栗山煉瓦創庫くりふと」の管理・運営
- 道の駅調査・検討、整備構想等策定



栗山煉瓦創庫くりふと来館者数

年度	開館日数	来館者数	1日平均
令和5年度	309日	30,824人	99.75人/日
令和6年度	306日	37,532人	122.65人/日
令和7年度	308日	38,635人	125.44人/日
令和8年度（9月まで）	157日	35,064人	223.34人/日



くりふと夜市で賑わう様子

分野別政策　「Ⅴ　都市基盤」

道路・交通　公共交通システムの充実

No. 115

地域公共交通の維持・確保と利便性の向上を図ります。

中央バス「岩見沢栗山線」「高速くりやま号」の路線維持

【主な取組】町営バス運行調整、広域連携による乗務員確保支援、負担金拠出など

近年の民間バス路線の変遷	現行の運行路線
• R4.9末　中央バス「岩見沢三川線」廃止 • R5.9末　夕鉄バス廃止 • R6.9末　中央バス「高速ゆうばり号」廃止 • R7.9末　中央バス「岩見沢由仁線」廃止 • R8.9末　中央バス「岩見沢長沼線」廃止	• 中央バス「岩見沢栗山線」 往復8便、年間負担金2,476千円(R7) • 中央バス「高速くりやま号」 往復7便、年間負担金2,804千円(R7) ※土日・祝日運行時は往復6便

JR北海道「室蘭線」の路線維持

【主な取組】　広域連携による利用促進活動
（モニター調査、周遊イベント、情報発信）など

年度	便数 (往復合計)	営業損益 (百万円)	輸送密度 (人/日)
R4	14	△1,069	326
R7	14	△1,145	303



分野別政策　「Ⅴ　都市基盤」

No. 116

充　実　道路・交通　公共交通システムの充実

町営バスの運行により、交通弱者の移動手段を確保します。

- **町営バス・コミュニティバス運行のサービス向上**
  デマンドバス予約方法の充実を図ります。
- **ICT等を活用した公共交通サービスの検討**
  AIオンデマンド交通の導入



町営バス利用状況

町営バス・コミュニティバス・デマンドバス合計　10路線　46便

年度	乗車数	月平均
令和5年度	30,824人	2,421人
令和6年度	37,532人	2,535人
令和7年度	38,635人	2,837人
令和7年度運賃収入	4,503,800円	
令和7年度運委託料	84,208,850円	

AIオンデマンド交通（イメージ図）

（スマホや電話で乗車予約➡AIによるルート決定）



分野別政策　「Ⅵ　地域経営」

コミュニティ活動　　町民と行政の新たな連帯・協働の推進

No. 157

新　規

栗山町モデルの「女子野球タウン構想」を推進し、町民との連帯・協働による地域活性化を図ります。

- **栗山高校魅力化×女子野球**
  （指導者確保・学生寮の管理・女子野球部支援基金）
- **女子野球を活用した学校プロモーション事業**
- **女子野球交流大会・合宿誘致・ホームグラウンド整備**
- **くりやま女子野球チャレンジ**
  （小中学生を対象とした女子野球体験会、野球教室の開催）
- **栗山高校女子野球サポーター、ふるさと納税、企業版ふるさと納税の活用**
- **雇用・労働環境整備と支援策検討**
  （町内での持続的な女子野球活動を支える環境づくり）







これからのまちづくりのため

皆さまのご意見をお聞かせください

※ご意見は、ハガキや町の応募フォームからもお寄せいただくことが可能です。ご意見お待ちしています。※期間は10月31日まで